

平成29年度

「クレーンの日」ポスター用写真・標語  
「ボイラーデー」ポスター用標語

募集結果発表

当協会では、「クレーンの日」（9月30日）、「ボイラーデー」（11月8日）にあわせて安全ポスターを作成するにあたり、ポスター用写真・標語の募集を行いましたところ、全国の皆様から多数のご応募をいただき、誠にありがとうございました。

応募数の内訳は、以下のとおりです。

去る6月6日に、審査委員会を開催し、公正かつ厳正に審査を行いました結果、次のとおり、入賞作品が決定いたしましたので、お知らせいたします。

「ポスター用写真及び標語 応募数」

区 分	応 募 数	
「クレーンの日」	写 真	106 点
	標 語	838 点
「ボイラーデー」	標 語	630 点

《 写真の部 》

優 秀 作



題名 「めざせ！ゼロ災害」

今玉利 修司 様 （東京都）

## 「出品者のコメント」

以前からクレーンの写真は撮り続けてきました。  
建設現場は何か生まれてくるという期待感やワクワク感に満ちています。そういった現場で一番活躍し目立つのがクレーンです。  
基本的に忠実な動作に導かれて巨大な重量物はその重量を失ったかのようにスルスルとさばかれていく様には、思わず見とれてしまいます。  
真にクレーンは社会を支える力持ちともいえます。

## 「審査委員総評」

本作品は、2020年東京オリンピック・パラリンピックの競技会場となる新国立競技場の建設現場の写真です。  
この現場では多数の大型クレーンが稼働していることから、関係者への作業計画、方法の徹底と安全かつ慎重な運転操作が求められます。  
「クレーンの日」のポスターは労働災害防止の意識高揚を目的とした広報用として作成しておりますが、本作品はそれに相応しく、優秀作に選ばれました。

## 佳作

題名「未来につなぐ架け橋」

山崎 俊泰 様（静岡県）



## 佳作

題名「青空に積み上げる」

平田 淳 様（東京都）



## 《 標語の部 》

### 【 クレーンの日 】

#### 「審査委員総評」

審査員は、労働災害防止のための標語として、いかに安全を訴えているか、また、別途募集した「クレーンの日」のポスター用写真の優秀作にマッチしているかという観点から審査を行いました。

ポスター用写真の優秀作は、前述のとおり2020年東京オリンピック・パラリンピックの競技会場となる新国立競技場の建設現場の写真です。現場では多くの移動式クレーンが稼働しています。

すべてのクレーン運転士が安全で正確な運転操作（技術）で工事を進めることにより、本作品が「確かな操作で築く明日（あす）」につながることから、優秀作に選ばれました。

## 優 秀 作

「クレーンの 確かな操作で 築く明日 」

池田 克也 様 （埼玉県）

## 佳 作（2点）

「クレーン作業 安全第一 確かな操作 」

小田中 準一 様（千葉県）

「的確な 合図と手順で 安全確保 」

市原 政光 様（神奈川県）

## 【 ボイラーデー 】

### 「審査委員総評」

審査員は、「ボイラー取扱作業主任者の職務」の10項目に沿ったものであるか、また、作業時の安全について訴えているかを審査しました。

本作品は、職務や作業への慣れによる「これくらい」しなくていいだろう、「これくらい」気にしなくていいだろうというような油断には事故が潜んでいるという警鐘であり、作業主任者への労働災害の防止を促す標語として相応しいことから、優秀作に選ばれました。

注：参考のため、次頁に「ボイラー取扱作業主任者の職務」を紹介します。

## 優 秀 作

「 これくらい 慣れと油断に ひそむ事故 」

古賀 敏眞 様 （佐賀県）

## 佳 作（2点）

「 安全は 見慣れた目より 見直す目 」

菅田 洋一 様 （茨城県）

「 日々点検 正しい手順で 防ぐ事故 」

中川 潔 様 （福井県）

# ボイラー取扱作業主任者の職務

(ボイラー及び圧力容器安全規則第25条)

1. 圧力、水位及び燃焼状態を監視すること。
2. 急激な負荷の変動を与えないように努めること。
3. 最高使用圧力をこえて圧力を上昇させないこと。
4. 安全弁の機能の保持に努めること。
5. 1日に1回以上水面測定装置の機能を点検すること。
6. 適宜、吹出しを行ない、ボイラー水の濃縮を防ぐこと。
7. 給水装置の機能の保持に努めること。
8. 低水位燃焼しゃ断装置、火炎検出装置その他の自動制御装置を点検し、及び調整すること。
9. ボイラーについて異状を認めたときは、直ちに必要な措置を講ずること。
10. 排出されるばい煙の測定濃度及びボイラー取扱い中における異常の有無を記録すること。

これくらい  
慣れと油断に  
ひそむ事故

平成29年標語 優秀作

主催：公益社団法人 ボイラ・クレーン安全協会 / 後援：厚生労働省

'17 ボイラーデー 11月8日